

## ■雪の日に……

3日（水）の子どもたちが登校してくる時間帯に、きれいな虹が校舎のはるか上にかかっていました。傘をたたんでいた子どもたちは、その虹を見上げ、昇降口へと向かっていきました。

翌4日は、足元の雪を見ながらの登校です。うっすらと積もった雪を拾いながら作った雪玉を手にしていたたくさんの子どもたちが、「校長先生、ほら、見て」と雪玉や雪まんじゅうを見せてくれました。また、水たまりにできた氷をそぉーと持ち上げ、嬉しそうにしている子どもたちもいました。やはり、子どもたちにとって、雪は特別なようです。

この特別は、大休憩にも続きます。2時間目の授業が終わると、ジャンパー等をしっかりと着て、雪玉を投げたり、みんなで協力して大きな大きな雪玉を転がしながら作ったり、……。それでも、大休憩の終わりを告げる放送が聞こえてくると、さっと教室に戻ろうとするのが府中っ子の素晴らしいところです。



校舎の上にかかる虹

白黒印刷だと分かりにくくてすみません……。カラーは校長ブログでご覧ください。



大きな雪玉づくり

蛇足になりますが、「カメムシの多い年は寒い冬で大雪になる」ということを聞かれた方もあるでしょう。同じように、「カマキリが高いところに産卵した年は大雪になる」という言い伝えもあるようです。その根拠は、カマキリは卵を雪に埋もれさせないように産み付けるとのことだそうです。

このことを研究しているチームによると、土壌の水分を吸い上げる樹木には、水が一定の位置から下に落ちないように調節する逆止弁があるそうです。土壌に豊富に水があれば、樹木はいつでも水分を取り入れることができるため、逆止弁の位置は低くなります。一方、土壌が乾いていれば、逆止弁の位置を高くして水分をより高い位置まで保つそうです。

大気に包まれている地球の水分量は、ほぼ一定です。樹木の逆止弁の位置が高いと大地が乾いている、逆に空は湿っているということになり、のちに大雪や大雨になるわけです。

今シーズンのカメムシの出現具合はどうだったのでしょうか。また、カマキリは高いところに産卵したのでしょうか。そして大雪になるのでしょうか。

（校長 山本 考一）

裏面に続く

〇●〇 令和8年 1月の行事予定 ●〇●

- 7日(水) 安全の日  
始業式 ※11:30下校
- 8日(木) 給食開始  
書き初め大会 ※校内書き初め展: 13日(火)~15日(木)  
5時間授業 ※14:45下校
- 9日(金) 5時間授業 ※14:45下校
- 12日(月) 成人の日
- 15日(木) 安全の日
- 16日(金) 1. 17追悼集会
- 19日(月) 日高東中学校入学説明会(6年生保護者)
- 21日(水) 読み聞かせ
- 23日(金) スキー教室(5・6年) ※予備日: 2/3(火)  
※1~4年は5時間授業で、14:45下校
- 30日(金) 委員会活動(5・6年)



\*毎週木曜日を定時退勤日とし、教職員は18時までには退勤します。ご理解・ご協力を  
よろしくお願いします。

「とよおか歩子ポイント」の府中小への寄付が7,500ポイント間近(12/4時点)となっています。ご協力いただいている保護者や地域の方々、本当にありがとうございます。  
今後とも、どうぞよろしくお願いします。

校長ブログ: 府中っ子の学校での様子をお伝えします。(パスワード:           )

学校教育目標「自分を伸ばす みんなで高め合う 府中っ子~「自分事」「自分たち事」となる学びの創造~」

PTA スローガン「絆とつながり~学校と地域で子どもたちの未来を育む~」